

# 【龍岡】中村

## 75 石折神社



昔、川に橋を架けるため、工事の邪魔になったむくの木を伐った。ところが、それからすぐ完成間近の橋が崩れた。むくの木に住んでいた神様のたたりだと言われ、木を植え、神社を建ててその神様を祀った。それがこの石折神社。



## 76 旧中村橋



古老によると、昭和10年代の架設という。今の国道ができる以前は必ずこの橋を渡っていた。老朽化のため、現在は通ることができない。

この橋は、鉄筋コンクリート造りの充腹アーチとなっている。鬼原の落合橋は開腹アーチで、これよりも規模が大きい。近代土木遺産として残したい建造物だ。

## 77 龍岡寺



大般若経

高野山真言宗 理観山匠王院龍岡寺  
龍岡寺は中村の集落全体を見渡せる場所にある。901年から23年に開基とあり、1000年を越える歴史があるが、昭和36年の火事で本尊をはじめ多くの古記録、伽藍を焼いてしまった。1371年から写経された大般若経は、焼失を免れ現代に伝わっている(市指定文化財)。全600巻のうちここには400巻があり、残りの200巻は朝倉上の光蔵寺に保存されている。

また、中世は高縄半島を支配した正岡氏の菩提寺として栄え、江戸時代に入ると今治藩の庇護を受けることとなった。現在本堂に祀られている仏像の中で、随求明王(大随求菩薩)は宝暦10年(1760)、仏師・京都仲田右京の作、弘法大師像は宝暦12年(1762)、仏師・京都北川運長の作とされている。

昭和57年には伊予府中十三石仏霊場第十三番札所として虚空蔵菩薩を祀り、平成6年には護摩堂を建立し、不動明王を祀った。

1月に開催される大般若祈禱会は、初薬師の日、一带の寺院に先がけて龍岡寺で開催される。

